

キッチン設置のための DIYガイド



たった7つの手順で 新品のキッチンが誕生

お客様ご自身の手で簡単にキッチンを組み立てと設置を行えるように、イケアではキッチン設計の段階からさまざまな工夫をしています。このDIYガイドでは、新しいキッチンの組み立てと設置を行う方法を説明します。

専門業者への依頼

ガス・水道の配管、食器洗い乾燥機、コンロ、照明の配線・設置にあたっては、お早めに資格を持った専門業者にご相談されることをお勧めします。

取り付けの前に

このガイドでは、準備から取り付けまでのプロセスを順に説明します。また、手順を確認しながら作業できるようポスター4枚が付属しています。キッチンの設置を開始する前に、このガイドとポスターをよくお読みください。



このガイドのオレンジ色の番号は、ポスターの取り付け手順の番号と対応しています。
ポスターを壁に貼っておきましょう。

必要な道具

キッチンの組み立てと設置には、適切な道具を使うことが重要です。

必要な道具は以下のとおりです：

- 定規/巻尺
- 金工やすり・紙やすり(木工)
- モンキースパナ (自在スパナ) :
蛇口の取り付けでホールソーとともに使用する
- ドライバー/ドリル
- 鉛筆
- ハンマー



目の細かい手ノコまたは電動丸ノコ：
ワークトップ、蹴込み板などのカット用
(サスペンションレールなど金属をカット
する場合は金属用ノコ刃が必要です。)

水平器・水準器



のこぎり付きマイターボックス：
デコストリップ等を正確な角度に切断するため



ジグソー：
シンク、コンロ用の
穴を開けるため



ホールソー：
蛇口を取り付ける
ための穴開け用

Gクランプ



直角定規



電動ドライバー/ドリル



千枚通し



ゴーグル：電動ドリル、ジグソーを使用するときは、保護用のメガネの着用をおすすめします。

ステップ 1

取り付けを開始する前に

古いキッチンを取り外す

作業を開始する前に、電気、ガス、水道を止めます。最初にベースキャビネットを撤去すると、ウォールキャビネットの取り外しが簡単になります。

壁と床を平らにする

きちんと設置するには、表面を平らにしておくことが重要です。具体的には、ステップ3のポスターの最初の3つの作業です。壁または床に大きな凹凸がある場合や、その他の大きな問題がある場合は、専門業者に補修を依頼することをお勧めします。壁については、表面上は問題が無くてもキャビネットを吊る場合は下地の強度が必要です。ご自身で確認できない場合は、専門業者に現場調査を依頼することをお勧めします。

キャビネットの位置に印を付ける

キャビネットの位置を測り、壁に直接印を付けます。全体がきちんと納まるか確認できます。

ガス、水道、電気の専門業者に依頼する

水道やガスの配管をやり直す場合、または新しく配線を引いたり、コンセントの位置を変更する場合は必ず、資格を持った専門業者に依頼してください。

下塗り、塗装、フローリングの敷設

キッチン設置スペースが空になったら、壁下地を補強する必要がある場合は補強工事、壁の下塗り、ペンキの下塗り、新しいフローリングの敷設をします。新しいフローリングを敷設する場合は、このタイミングが最適です。ただし、キッチンの設置が終わるまでは表面を保護しておく必要があります。ペンキの二度塗り、壁紙の貼り付けは、キャビネットの設置が終わってからにしてください。



ステップ 2

全てのパーツの確認と 組み立ての開始

キッチンに必要なパーツがすべてそろっていることを十分に確認してください。お手元のパッケージとお見積書を照合するとよいでしょう。ウォールキャビネットのパーツを一カ所にまとめるなどして、パッケージを分類してください。

適切な固定金具を使用する

石膏、木材、コンクリートなど、壁にはさまざまなタイプがあるため、キャビネットには固定金具は付属していません。金具の専門店やホームセンターにはさまざまな建材に合った固定金具がそろっています。ご自宅の壁に合う適切な金具をお選びください。

ワークトップは室内に保管する

ワークトップは室内で、通常の温度と湿度の環境で保管する必要があります。ただし、暖房器具や壁などに立て掛けたり、冷たい床に置いたりしないでください。ワークトップは水分を吸収したり、乾燥したりすると、ゆがむことがあります。

ウォールキャビネットから組み立てる

最初にウォールキャビネットを組み立ててから取り付けるのが一番簡単な方法です。各パッケージに同梱の説明書、および別途お渡しする「IKEAキッチン施工について」に従って組み立ててください。

次にベースキャビネット、ハイキャビネット、引き出しを組み立てる

説明書に従ってベースキャビネット、ハイキャビネット、引き出しを組み立てます。キャビネットを組み立てる前に、引き出しや引き出し式バスケットのランナーを、ベースキャビネットおよびハイキャビネットの内側の壁にネジでとめます。

キャビネットを取り付ける順番に配置する

必要なキャビネットがすぐにわかるように、キャビネットを取り付ける順に並べます。ワイヤーバスケットなどの引き出し式の収納アクセサリや扉、ノブ、取っ手、棚板などは、後で取り付けるため、この段階では取り付けないでください。



ウォールキャビネットの取り付け

ほとんどのキッチンでは、最初にウォールキャビネットを取り付けるのが一番簡単な方法です。下にベースキャビネットがない状態の方が、踏み台を使用しやすいからです。ただし、I型キッチンで、片側の端にハイキャビネットを設置する場合は例外です。この場合は、**ステップ4**のポスターを見ながらまずハイキャビネットを取り付けてから、ウォールキャビネットを取り付けます。ウォールキャビネットを取り付けない場合は、**ステップ4**に進みます。

手伝いを依頼し、踏み台を用意する

丈夫な踏み台を用意し、人に手伝ってもらって作業をすると、ウォールキャビネットの取り付けはさらに簡単になります。まずコーナーキャビネットの取り付けから始めます。

ステップ3のポスターの手順に従ってください。

- サスペンションレールが固定・施工できる柱・桟等下地を確認する。
- サスペンションレール上下2本を壁にネジで固定する。
- ウォールキャビネットをサスペンションレールに取り付ける。
- ウォールキャビネットを水平になるよう調整する。
- すべてのナットを締める。



ベースキャビネットおよび ハイキャビネットの取り付け

- サスペンションレールを壁にネジで固定する。
- キャビネットの脚を取り付ける。
- ベースキャビネットを取り付ける。
- ハイキャビネットを取り付ける。
- キャビネットを水平に調整する。
- キャビネット同士を連結する。
- すべてのナットを締める。
- フィラーを取り付ける。
- コーナー用回転シェルフを取り付ける。

重要

キャビネットを取り付ける前に、水道、電源、その他の配管・配線用の開口部を測り、印を付け、カットしてください。

最初にコーナーキャビネットを取り付ける

ウォールキャビネットの取り付けと同様、まずコーナーキャビネットから取り付けます。コーナーキャビネットを取り付けない場合は、背面の壁と側面の壁が接するコーナーに設置するキャビネットから取り付けてください。



ワークトップの取り付け

キッチンのキャビネットフレームの取り付けが完了したら、ワークトップとシンクを取り付けます。

メラミン/木製ワークトップの場合

- ワークトップの長さを測る。
- コーナーを継ぎ合わせる（L型カウンターの場合）。
- ワークトップをカットする。
- シンク用・コンロ用の穴を開ける。
- 切断面を保護する。
- シンクとワークトップを取り付ける。
- キッチン混合栓を取り付ける。

無垢材のワークトップの取り扱いについては、**ステップ5**のポスターをご覧ください。

人工大理石/ステンレススチールのカスタムメイドワークトップをオーダーした場合はあらかじめ必要な長さにカットされており、シンクは取り付け済みで、コンロ/水栓用の穴もあらかじめ開いています。人工大理石のL型継ぎ工事は技術を必要としますので、専門業者に依頼することをお勧めします。



引き出し、棚板、照明の取り付け

キャビネットフレーム、ワークトップ、シンクを取り付けたら、棚板、照明、引き出しなどのアクセサリを取り付けます。キャビネットフレームには、棚板、引き出しなどの収納アクセサリを簡単に取り付けられるように、下穴が開けてあります。後で調整したり、収納アクセサリを追加したりするのも便利です。

- **カバーパネルを取り付ける。**
- **照明を取り付ける。**
- **棚板を取り付ける**
- **引き出しの取り付けと調整を行う。**

詳しくは、パッケージに同梱の説明書をご覧ください。



最後の仕上げ

ちょっとした細かい作業と微調整で、キッチンが完成します。ノブや取っ手の取り付けから扉や引き出しの調整まで、細かい作業ですが、キッチンの仕上がりと使い勝手に大きな違いが出ます。時間をかけて丁寧に作業してください。

取っ手とノブは、さまざまな種類からお選びいただけます。扉や引き出しの前面など、取り付ける場所によって、見た目や使い勝手の面でお勧めするものが異なりますので、イケアストアのキッチン担当者にご相談ください。

- 蹴込み板を取り付ける。
- デコストリップを取り付ける。
照明の配線ケーブルを視線から隠すことができます。
- 扉を取り付ける。
- ノブと取っ手を取り付ける。
- キャビネットフレームにドアバンパーや耐震ラッチを取り付ける。



長くお使いいただくために

キッチンの完成です

自分で組み立てて設置することで費用を抑えて完成させた、すばらしいキッチンのできばえをご覧ください。お手入れとメンテナンスにより、イケアのキッチンをきれいな状態で長くお使いいただけます。

キャビネットのお手入れ

扉、キャビネットの収納アクセサリ、木製の表面は、湿らせた柔らかい布で拭いてください。必ず材質に合った清掃用品を使用してください。アンモニア、アルコール、研磨剤を含む洗剤は使用しないでください。仕上げにきれいな布でから拭きしてください。

シンクの光沢と清潔さを保つために

ステンレススチールのシンクを傷のない、光沢のある状態に保つためには、中性洗剤とスポンジで洗浄してください。スチールたわし、スチールブラシ、漂白剤、クレンザーは使用しないでください。

洗浄後は、洗剤を完全に流し、から拭きしてください。拭くときは、金属の目に沿って拭いてください。ステンレススチールのシンクの上でシルバーのクリーニングをしないでください。変色の原因になります。

無垢材製ワークトップのお手入れ

BEHANDLA 木製品用トリートメントオイルを定期的に塗布して水や汚れから保護しましょう。



ご不明な点は、イケアストアのセールススタッフにお問い合わせください。



Design and Quality
IKEA of Sweden